様式第二号の八（第八条の四の五関係）

記載例

（第１面）

|  |
| --- |
| 産業廃棄物処理計画書　　令和７年●●月●●日作成した年月日を記載。奈良県知事　殿提出者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　　奈良県●●市●●町●●－●－●　　　法人の場合は、会社名に続けて代表者の氏名を記載。個人の場合は、氏名を記載。氏名　　株式会社●●●　代表取締役　●●●●（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）　　電話番号　●●●●－●●－●●●●　廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。産業廃棄物を排出する事業場を記入。排出事業場が建設現場等で複数あり、記載できないときは「奈良県管轄事業場」と記載。 |
| 事業場の名称 | 株式会社●●●　●●支店産業廃棄物を排出する事業場の所在地を記入。排出事業場が建設現場等で複数あり、記載できないときは「奈良県管轄区域内」と記載。 |
| 事業場の所在地 | 奈良県●●市●●　●－● |
| 計画期間 | 令和７年４月１日～令和８年３月３１日今年度（令和７年度）の計画期間を記載。 |
| 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 |
|  | 1. 事業の種類
 | 総合工事業日本標準産業分類の区分を記載。 |
| 1. 事業の規模
 | 元請完成工事高　●●●●万円 |
| 1. 従業員数
 | ●●●人前年度3月31日時点の従業員数を記載。 |
| 1. 産業廃棄物の一連の処理の工程
 | （解体工事）がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。混合物→最終処分業者に委託し、埋立処分。（基礎工事）汚泥→中間処理業者に委託し、脱水後、埋立処分。（建設工事）がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化。廃プラスチック類→再生処理業者に委託し、RPF燃料として再資源化。一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記載。 |

（日本産業規格　Ａ列４番）

（第２面）

**今年度（令和７年度）**の産業廃棄物排出量の**目標値**を品目ごとに記載。

産業廃棄物の種類が３品目以上のときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付。

|  |
| --- |
| 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 |
|  | （管理体制図）産業廃棄物の処理に係る管理体制について記載。　本社環境管理部　　　　↓　支店長（廃棄物処理統括責任者）　　　　↓　建設部総務課（産業廃棄物管理担当課長）　　　　↓工事現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者） |
| 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 |
|  | ①現状 | 【前年度（　令和６年度）実績】 |
| 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | 木くず |
| 排出量 | 2,500ｔ | ●●ｔ |
| （これまでに実施した取組）**前年度（令和６年度）**の産業廃棄物排出量の**実績値**を品目ごとに記載。産業廃棄物の種類が３品目以上のときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付。・工法の改善・部材調達量の適正化・簡易包装の部材購入排出の抑制に関して**実施した取組**を記載。 |
| ②計画 | 【目標】 |
| 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | 木くず |
| 排出量 | ●●ｔ | ●●ｔ |
| （今後実施する予定の取組）・プレカット製品の導入・改善提案に関する社内教育の実施排出の抑制に関して**実施する予定**の取組を記載。 |
| 産業廃棄物の分別に関する事項 |
|  | ①現状 | （分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）**前年度（令和６年度）**の**内容**を記載。産業廃棄物が発生した段階から混合物とならないよう、廃プラスチック類、木くずを分別している。 |
| ②計画 | （今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）**今年度（令和７年度）**の**予定**を記載。産業廃棄物が発生した段階から混合物とならないよう、廃プラスチック類、木くずを分別する。 |

（第３面）

|  |
| --- |
| 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 |
|  | ①現状 | 【前年度（　令和６年度）実績】 |
| 産業廃棄物の種類 | ― | ― |
| 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 | ―ｔ | ―ｔ |
| （これまでに実施した取組）記載すべき事項がないときは、「―」を記載（又は空欄）―自ら行う産業廃棄物の再生利用に関して**実施した取組**を記載。 |
| ②計画 | 【目標】 |
| 産業廃棄物の種類 | 木くず | ― |
| 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | ●●ｔ | ―ｔ**今年度（令和７年度）**の自ら再生利用する産業廃棄物量の**目標値**を品目ごとに記載。産業廃棄物の種類が３品目以上のときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付。 |
| （今後実施する予定の取組）・売却可能な品質の端材を売却自ら行う産業廃棄物の再生利用に関して**実施する予定**を記載。 |
| 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 |
|  | ①現状 | 【前年度（　令和６年度）実績】 |
| 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | ― |
| 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 | ―ｔ | ―ｔ |
| 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 | 500ｔ記載すべき事項がないときは、「―」を記載（又は空欄） | ―ｔ |
| （これまでに実施した取組）―自ら行う産業廃棄物の中間処理に関して**実施した取組**を記載。 |
| ②計画 | 【目標】 |
| 産業廃棄物の種類 | 木くず | ― |
| 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | ―ｔ | ―ｔ |
| 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | ●●ｔ | ―ｔ**今年度（令和７年度）**の自ら中間処理する産業廃棄物量の**目標値**を品目ごとに記載。産業廃棄物の種類が３品目以上のときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付。 |
| （今後実施する予定の取組）・破砕機の設置を検討自ら行う産業廃棄物の中間処理に関して**実施する予定**を記載。 |

（第４面）

記載すべき事項がないときは、「―」を記載（又は空欄）

|  |
| --- |
| 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 |
|  | ①現状 | 【前年度（　令和６年度）実績】 |
| 産業廃棄物の種類 | ― | ― |
| 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 | ―ｔ | ―ｔ |
| （これまでに実施した取組）― |
| ②計画 | 【目標】 |
| 産業廃棄物の種類 | ― | ― |
| 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | ―ｔ | ―ｔ記載すべき事項がないときは、「―」を記載（又は空欄） |
| （今後実施する予定の取組）― |
| 産業廃棄物の処理の委託に関する事項全処理委託量の内訳として、・優良認定処理業者・再生利用業者・認定熱回収業者・認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への**処理委託量の実績**を、廃棄物の種類ごとに記載。 |
|  | ①現状 | 【前年度（　令和６年度）実績】 |
| 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | 木くず |
| 全処理委託量 | 2,000ｔ | ●●　ｔ |
|  | 優良認定処理業者への処理委託量 | 1,000ｔ | ●●　ｔ |
| 再生利用業者への処理委託量 | 1,500ｔ | ●●　ｔ |
| 認定熱回収業者への処理委託量 | 0ｔ | ●●　ｔ |
| 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0ｔ | ●●　ｔ |
| （これまでに実施した取組）**前年度（令和６年度）**の産業廃棄物処理委託量の**実績値**を品目ごとに記載。産業廃棄物の種類が３品目以上のときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付。・排出量抑制、再生利用に努め、やむを得ず残るもののみ処理委託した。・年に１回、処理業者の事業場を視察した。処理の委託に関して**実施した取組**を記載。 |

（第５面）

全処理委託量の内訳として、

・優良認定処理業者

・再生利用業者

・認定熱回収業者

・認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者

への**処理委託量の目標**を、廃棄物の種類ごとに記載。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ②計画 | 【目標】 |
| 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | 木くず |
| 全処理委託量 | ●●　ｔ | ●●　ｔ |
|  | 優良認定処理業者への処理委託量 | ●●　ｔ | ●●　ｔ |
| 再生利用業者への処理委託量 | ●●　ｔ | ●●　ｔ |
| 認定熱回収業者への処理委託量 | ●●　ｔ | ●●　ｔ |
| 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | ●●　ｔ | ●●　ｔ |
| （今後実施する予定の取組）**今年度（令和７年度）**の産業廃棄物処理委託量の**目標値**を品目ごとに記載。産業廃棄物の種類が３品目以上のときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付。・優良認定処理業者への処理委託割合の増加を検討する。処理の委託に関して**実施する予定**を記載。 |
| ※事務処理欄 |  |

（第６面）

|  |
| --- |
| 備考１ 前年度の産業廃棄物の発生量が1,00トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。２　当該年度の６月30日までに提出すること。３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。　 (1)　①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。　 (2)　②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。　 (3)　④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。　５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。　６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。　７　※欄は記入しないこと。 |
| 担当者連絡先 | 所属 | ●●●●課 | 職氏名 | 係長　●●　●● |
| メールアドレス | ●●●●@●●●● | 電話番号 | ●●●●-●●-●●●● |